



町から2人もJAPANメンバーに

4月22日(水)にフロアボールの日本代表メンバーに選ばれた磯龍太郎君と津田佑樹君(いずれも富来高3年)が細川町長と青山教育長のもとを訪れました。

2人は5月6日(水)からフィンランドで行われるフロアボールU19(19歳以下)男子世界選手権2009に出場します。

町長は「ぜひベストコンディションで臨んでほしい。1戦1戦を大切に頑張ってもらいたい」と激励し磯君は「相手は強い。大人の全日本と同レベルだけどやるからには勝ちたい」と抱負を語りました。ボールとはアイスホッケーに似た競技です。

海外青年協力隊員としてアフリカのモザンビークへ派遣されていた村井茜さん(高浜町)が任務を終えて無事帰国し、青山教育長へ報告に訪れました。

青山教育長は「元気で帰ってきてくれてうれしいです。単身で貢献したいというボランティア精神が素晴らしい」と話しました。

村井さんは平成19年3月から2年間、現地で食用作物や稲作の指導などを行ってきました。モザンビークの人々は優しい人が多く、一度も帰りたいたとは思わなかったそうです。料理についてもココナッツミルクがベースになっていてとてもおいしかったそうです。苦労したことは「水を確保することが大変だった」そうですが、お金を貯めてまた行きたいと話しました。

モザンビークから帰国



人権擁護委員に委嘱状



4月6日(月)に役場で人権擁護委員の委嘱状交付式が行われ、盛本浩吉さん(4期目)に細川町長から委嘱状が手渡されました。任期は3年間です。

人権擁護委員とは、法務大臣が委嘱した方々で日頃地域に根ざした活動を行っている人が、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことが望ましいという考え方から設けられたもので、諸外国にも例を見ない制度です。

志賀町では広報の情報パーク内の「相談」コーナーで毎月総合相談(無料)を掲載していますので、お気軽にご相談ください。

100歳おめでとうございます

3月30日(月)に100歳を迎えた坪野の藤本ふみ子さんに細川町長から祝い状や花束などが手渡されました。

藤本さん宅で行われた贈呈式には、親戚の人達が大勢でお祝いしました。この日を楽しみにしていたという藤本さんは、茶わん蒸しが大好きで、ほとんど毎日食べているそうです。



100歳おめでとうございます

3月30日(月)に老人保健施設アイリスで100歳を迎えた稲垣キヨマさんに細川町長から祝い状や花束などが手渡されました。

稲垣さんは体は丈夫な方ではなかったものの、農作業に汗を流していたそうです。家族が「おめでとう」というと「ありがとう」と笑顔で答えました。

新社会人の集い

4月14日(火)に今春町内の企業に就職した新社会人58人(13事業所)の歓迎会が開催されました。

式典では、細川町長が「与えられた職場で最大限努力してほしい。町づくりにはみなさんのような若い力が必要です」と歓迎の言葉を述べました。

新社会人を代表して石川サンケン(株)の小寺宏高さんが「今までの甘い考えは通用しません。1日でも早く仕事を覚えられるように日々、努力していきたいです」とお礼の言葉を述べました。



カンカン娘が老人施設に車いすを寄贈



4月21日(火)に熊野地区の女性5人でつくる「カンカン娘」がアルミ缶やプルタブを集めて得たお金で車いす6台を購入し、老人保健施設アイリスへ寄贈しました。

カンカン娘は代表の山本洋子さん、中村よしのさん、坂本トシ子さん、稲垣順子さん、春木浩美さんの5人で、8年間活動しこれまでに町内の病院や老人ホームなど4施設に12台の車いすを贈っています。

山本さんは「今回は地震やガソリン価格の高騰で回収がはかどらず3年かかってようやく贈ることができました」と笑顔で話しました。アイリスの職員は「大変助かります」と感謝しました。